

平成28年度第1回小坂井地区公共施設再編整備基本計画策定委員会

日 時 平成28年7月28日(木)

午後2時から

場 所 小坂井生涯学習会館 3階 研修室

1 開会

出席 委員13名、事務局(副市長含む)8名、傍聴8名

2 本策定委員会について

事務局	設置要綱により策定委員会について説明。 委員の紹介。
-----	-------------------------------

3 副市長挨拶

4 委員長の互選

	委員より推薦があり、阿部委員を委員長とした。
--	------------------------

5 副委員長の指名

	委員長より指名があり、松島委員を副委員長とした。
--	--------------------------

6 議事

(1) 小坂井地区公共施設再編整備基本計画策定業務の概要及び必要性

(2) 小坂井地区の概要と公共施設再編の進め方

事務局	(資料説明)
委員	小坂井地区には活用出来ないスペースが多いというより、活用出来ていないものが多いと思う。庁舎の中は閑散としていて、使われていない部屋が多い。今回は、建物を壊して新しい建物を建てると考えて良いのか。
事務局	小坂井庁舎は2階の一部と3階は使われていない。現段階では公共施設が多く、今後は削減しないと維持できないという状況であるため、活用されていない部分は減らすという考え方。 小坂井支所と生涯学習会館、児童館、東保育園を含めて再編し、今ある建物を壊して新たに複合施設を作る。
委員長	委員会は今日含め4回あるわけだが、今年度の流れというのはどうなるのか。
事務局	どの施設を複合化するのか、その次にその施設に必要な面積を検討

	し、複合施設の概要までを今年度の策定委員会で決めていただきたい。
--	----------------------------------

(3) 小坂井庁舎周辺の各ゾーン・導入機能の整理と再編の基本的な考え方

事務局	(資料説明)
副委員長	複合化をした後、一部分だけ耐震化の対象となった場合、その部分以外の全体も耐震化するのかなど、問題もあるとは思いますがそのあたりはどう考えているか。
事務局	今回は新たに建物を建築するという事で、残した施設に集約化するという事ではない。機能を集約して新たに施設を建てるという方向で進める。
委員長	意見交換会というのは、どのような内容だったのか。
事務局	地元の方々に問題点を出示していただいて、それに対して市は昨年度 A 案、B 案の二つの案を提示した。セキュリティの面を考慮して保育園を別にした方が良いのではないかという意見をいただき、それを踏まえて新たに保育園を独立させた C 案を今回示した。
委員長	セキュリティという問題は、一般の方が出入りするのはいかがでしょうか。
事務局	はい。
委員	今後少子化が進む中で、保育園を減らす等の方向性はどのように考えているか。
事務局	定員には余裕はまだあるが、クラス数が増えてきている。0 歳児、1 歳児が増えておりクラス数が増えている。 また、旧 4 町には小さい保育園が点在している。以前は母親が自転車で登園という形が多かったが、今は車で登園する方が多いため、必要なのは駐車場となったため、保育園を統合したらどうかという話になっている。
委員	去年の意見交換会にも参加させていただき、C 案を推薦した。 児童館と保育園というのは一緒には出来ないとのこと。お預かりしている子供達なので、安全に帰宅させるというのも仕事だと思うので、3 世代交流として使えるかというのと、使えないと思う。
委員	セキュリティの問題に加え、統合しても保育園は再編があるため、使いにくいという意見もある。
委員	老人クラブとしては昨年 3 世代交流に関する意見が出ているが、最近の相模原の事件もあり、やはり保育園は独立してセキュリティをしっかりとすべきと言う意見が出た。
委員	合併前は資料館に文化財が身近にあったが、資料館が無くなり見に行けなくなった。今回の資料では文化財を見せる場が考えられていな

	<p>い。旧小坂井町は歴史的なものが多くあり、子どもたちに見せる場があるべきだとは思いますが、そのあたりはどのように考えているか。</p> <p>施設を新たに建てるということで、駐車場をどのくらい作ろうとしているのかわからない。駐車場の確保についてどのように考えているか。</p> <p>建物だけではなく、建物の周りについてもコミュニティの場を作るべきだと思う。緑を増やして散策路を作るとか、孫を連れた高齢者の憩いの場、コミュニティの場をこの地区の全体を見てデザインしてもらいたい。</p>
事務局	<p>文化財については、もしこの地区について欠けているというのであれば、この機会に作ることも可能である。</p> <p>駐車場については、複合化することによって個々に整備する必要が無いいため、敷地にも余裕が出てくる。トータルで必要な駐車場台数は確保できるはずである。</p> <p>憩いのスペースということについては、この地区に足りないということであれば小規模のものにはなるかと思うが整備することも検討していくべきだとは思いますが。</p> <p>小坂井地区に欠けているものがあれば、この委員会の中で意見を出していただければ事務局で検討し、先進事例にもなれるように今回の計画に位置づけていくということも可能である。財源状況もあるため大規模なものは難しいがご理解頂きたい。</p>
委員	<p>児童クラブを小学校に集約するのは大変良い。以前視察に行った所が子どもたちの移動が少なくて済むので安全であるとか、高齢者との交流が出来るスペースが設けており、大変良いと思った。</p> <p>また、障がいのある子が最近多くなってきているが、市の中で受け入れる所がもっとあればいいと思う。</p>
事務局	<p>障がいのある子どもを受け入れる所は、これまでは中学校区に1つであったが、現在拡張している最中である。現実に障がいを持つ子どもの数は増えている。</p> <p>児童クラブについては、今までは10歳未満までであったが、国が進めている、まち・ひと・しごと創生の関係で、子育て支援の充実ということで6年生まで受け入れるようにという流れになっている。</p> <p>また、市としては今回の案として、学校の敷地内を活用して児童クラブを設置したいと考えている。</p>

(4) 地元住民ワークショップ及び住民アンケート

事務局	(資料説明)
-----	--------

委員長	ワークショップの参加人数はどの程度を見込んでいるか。
事務局	2部制で各部20名程度を見込んでいる。
委員	去年は中学生が参加していたが、今回は何歳からの募集なのか。
事務局	今回は16歳。去年は中学校の体育館も対象に入っていたため、2年生の生徒に参加してもらった。
副委員長	中学校から市全体のイメージを考える、市全体から中学校を考える2つのパターンを行い、いくつも良い意見はあった。
委員長	アンケートの結果はいつ頃まとまる予定か。また、アンケートの回収はどの程度を想定しているか。
事務局	回収期限は8月22日までとしている。その速報値をワークショップの第2回目で示す予定。最終結果は10月の策定委員会で報告したい。回収率は50%強程度を見込んでいる。
事務局	A、B、C案の中でC案が良いというような声もあったが、事務局として今後C案を進めてよいかどうかを諮っていただきたい。また、不明な点がありましたら質問いただきたい。
副委員長	規模はどの程度か。
事務局	2,500㎡程度を想定している。
委員長	A案が一番コストが高いとのことだが、金額でいうとB案、C案はどの程度変わるのか。
事務局	金額としての割合は出せないが、A案は建物が2つあるということで外壁面積が多く、電気代等の熱源もかかるということで一番コストが高く、A案とB案の中間がC案という形である。
委員長	C案に対して反対意見等あるか。 C案をベースに考えていくという方向でよろしいか。
一同	(特になし)
委員長	お認めいただいたということで、よろしく願います。

7 その他

事務局	次回の会議について、10月の中旬から下旬を予定している。場所は同じ生涯学習会館。正式に決定後、書面でご連絡する。
委員長	以上で議事を終わる。

8 閉会

以上